

令和3年度 第5回教育研究評議会（臨時開催）議事要録

日 時 令和3年8月5日（木）14:00～15:27
場 所 Teams（オンライン）開催
出席者 太田学長，久留主理事，佐川理事，山岸理事，鳥羽田理事，菊池理事，金野副学長，西川副学長兼全学教育機構長，折山副学長，内田人文社会科学部長，荒川教育学部長，田内理学部長，増澤工学部長，戸嶋農学部長，原口図書館長，鈴木評議員，高橋評議員，野崎評議員，岡田評議員、金評議員，乾評議員，鎌田評議員，大久保評議員，木下評議員，安評議員
監事監査規則第9条第2項による出席者：中根監事、浅見監事

議 題

審議事項

- 1 新たな教育組織の設置について（学長）

報告事項

- 1 日越大学のJICA長期派遣専門家学内公募について
(日越大学プログラム運営委員会副委員長)
- 2 その他

議 事 概 要

I 審議事項

- 1 新たな教育組織の設置について

学長から，新たな教育組織の設置について，資料1に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで，学長及び学務企画課長から説明があり，審議の結果，提案のとおり了承された。

【主な意見】

- ・学部等連係課程に対する高校生のニーズを調べる必要がある。また，兼務担当として協力する教員の負担が増えすぎないか心配である。
- ・教育学部には教員養成という明確な目的があり，学部等連係課程とどのように連携するのか疑問がある。
- ・学部等連係課程では文系，理系という分け方をしない入試の方が良い。
- ・高校側から見て学部等連係課程がどのように見えるかが重要である。入学してからどういったことを学んで，どういった将来が目指せるか等の卒業までのイメージが分かりにくい。
- ・全ての学部で平等に分担するということには安心したが，高い理想で本当に実現できるのかという不安がある。今後の議論の進捗等を適切に学部伝えてほしい。
- ・研究科等連係課程の設置のために既存の大学院の定員を抛出することによって，学部の教員の削減が行われることはないことを確認できた。定員に関することは重要案件なので，十分な議論をお願いしたい。

- ・学生の居場所は大切である。学部等関係課程において学生組織としての一体感や教員との距離が離れないか心配である。

II 報告事項

- 1 日越大学のJICA長期派遣専門家学内公募について
日越大学プログラム運営委員会副委員長から、日越大学のJICA長期派遣専門家学内公募について、資料2に基づき報告があった。
- 2 その他
学長から、新型コロナウイルスワクチンの職域接種について、希望していた日程では調整がつかず、8月30日以降の日程で再調整となる旨の報告があった。

III その他

無し

次回 教育研究評議会開催

9月9日（木） 14時00分から